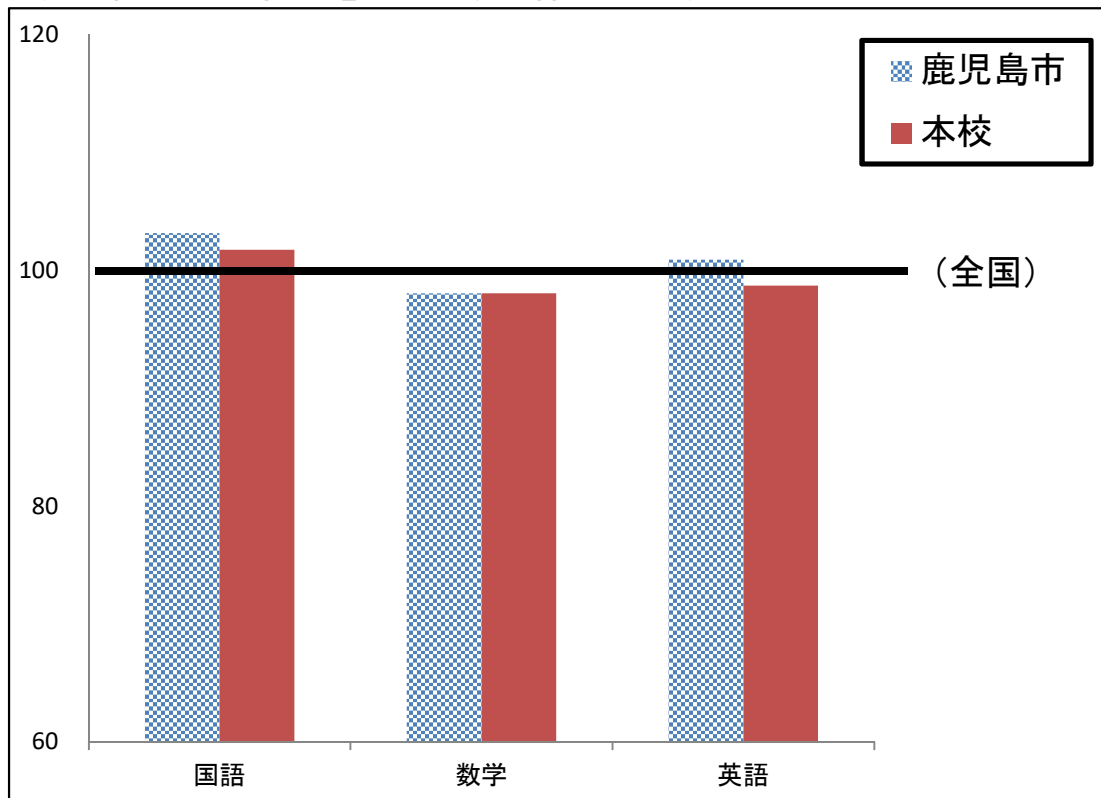


# 令和5年度全国学力・学習状況調査結果について 鹿児島市立谷山中学校

## 1 自校・市・全国の平均正答率の比較 〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



## 2 自校の課題に対する改善策

### 〈国語〉

授業中の課題に対して、粘り強く考えることができます。漢字の正答率も高いです。一方、作文の問題での誤字脱字が多く、問いに対して適切な形で文章を書くことに課題が残りました。また、少し長めの字数指定がある問題に対しては、空欄が目立ち、苦手意識を感じます。そこで、表現力(自分の考えをまとめる力、自分の考えを伝える力)を一層身に付けるために、毎時間ごとに自分の考えを書く時間を設定し、それを推敲したり互いに交流したりする時間を設けます。

### 〈数学〉

数学への興味・関心や授業に対する意識が高いようです。基本的な計算問題の正答率も高い状況にあります。一方、記述問題(証明問題や方程式の計算過程を書く問題)に課題が残りました。そこで、授業の初めに、入試問題も取り入れた小テストを実施し、記述問題を中心とした学び直しを行います。また、数学が苦手な生徒も得意な生徒も考えを巡らせることができるように、習熟度別の課題に取り組ませ、苦手な生徒には個別に指導します。

### 〈英語〉

パラグラフライティング(意見・主張・理由・まとめ)について成果が見られました。また、読むことに関しては、物事の概要や短い文章の概要・要点を捉える力が身に付いてきています。一方、つづりを正確に書くことに課題が残りました。また、コミュニケーションへの抵抗感があり、対話活動が活性化しない場面もあります。そこで、表現に対する適切なフィードバックを行い、つづりや文法を正しく正確に伝えられるようにします。また、対話活動の場面において、自分の意見や考えをもつことが難しい場合は、級友から聞き取ったことを生かしながら、話したり書いたりできるように取り組んでいきます。

### 〈全体的に〉

生徒質問紙の結果より、本校の生徒は授業で粘り強く課題の解決に取り組むことができるが、自主的・計画的に取り組んだり、資料や文章、話の組立てなどを工夫して説明したり表現したりすることに課題が見られました。学校では、入試問題を視野に入れつつ、自ら計画を立てて学習に取り組むよう支援します。また、各教科の授業等において、適切な資料を用いたり、話の組立てを考えたりして質の高い表現活動を目指します。御家庭でも見届けと助言をよろしく願います。